

令和5年度 第3回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和5年6月9日(金)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 堀留 豊
午後2時00分	教育委員 田原 正人	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時40分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	国体推進課長 米田 昭嗣
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

- 1 開 会
定刻、定足数に達しており、令和5年度第3回教育委員会定例会を開会した。
- 2 令和5年度第2回定例会会議録の承認について
承認
- 3 議 事
報告第14号 垂水市学校給食費補助金及び負担金支給要綱の制定について
- 4 その他
- 5 委員並びに教育長及び課長報告
- 6 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第14号 垂水市学校給食費補助金及び負担金支給要綱の制定について	学校給食に要する経費について、物価高騰や地場産物活用に対して、値上げを行わないために要する経費を補助する要綱の制定について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	

議 事 内 容 等

3 議 事	報告第 14 号 垂水市学校給食費補助金及び負担金支給要綱の制定について
教育総務課長	学校給食に要する経費について、物価高騰や地場産物活用に対して、値上げを行わないために要する経費を補助する要綱の制定について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。
葛迫委員	無償化は子供たちだけですか。
教育総務課長	垂水市内の小中学校に通う児童生徒を対象にしている。
教育長	小中学生の給食費はいくらになるのか。また、手続きはどうなるのか。
教育総務課長	給食費については、昨年度の運営審議会で 1 人あたりの給食費を決定している。無償化の事業費 2,646 万 1 千円の内訳ですが、1 人 1 月当たりの給食費は小学生で 4,600 円、中学生で 5,450 円になり、これに児童、生徒数をかけて算出しています。小学生は 522 人の 7 か月分、1,680 万 8,400 円、中学生が 253 人の 7 か月分 965 万 1,900 円、これを合計すると、2,646 万 350 円となり、予算額が 2,646 万 1 千円となる。 手続きについては、一般的には、保護者が補助金申請をして補助するという形をとるが、本市の場合はそういう形ではなくて、食材費を購入する運営審議会の経費を負担するという形で行う予定。コロナの時の支援をする形をそのまま使いたいと考えている。

4 その他	<p>移動教育委員会、地域住民と教育委員との意見交換会について</p>
教育総務課長	<p>移動教育委員会の開催について、市内全小学校で一通り開催できたこと、また、令和5～6年度は教科書採択協議が行われることなども考慮し、令和7年度から学校ごとにテーマを設定し、隔年開催とする提案を行った。</p>
教育長	<p>提案のとおりとしてよいか。</p>
委員	<p>(了承)</p>
5 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>
田原委員	<p>5月23日、柘原小学校の学校訪問ですが、新しい校長先生の下、学校には明るく爽やかな風が吹いていると感じました。「臨機応変の対応は苦手だが、決められたことをきちんとやる子供たちが多い。」と訪問資料の中に書かれていましたが、先生方の教えを素直に聞いてまじめに努力する子供たちであろうと思いました。それを証明するように、鹿児島学力定着度調査、全国学力調査、NRTの成績が全学年全国平均を上回っており、それを4～5年続けていることに感心しました。授業でのICT機器、タブレット端末の効果的な活用などのほか、少人数の良さを生かしたきめ細やかな指導を徹底することで学力をつけていると思いました。学力調査の過去問を冊子にして配布し、完全に理解するまで繰り返しやらせ、結果の見届けをするという、このあたりが少人数だからできていると思いますし、その良さを生かしているなど、ほかの学校も参考にしたいところだと思いました。</p> <p>それから水之上小ですが、ここも校長先生が代わって、明るく元気な風を感じました。昨年県教育センターのICT機器活用の研究校であったことにより、先生方や子供たちの機器活用能力が一段と向上していたように感じました。これからは機器を活用して情報を集め、そのデータをもとに全体で検討し、練り上げるそんな授業もあっていいのかなと思いました。現在の水小は学力向上が課題なので、第2土曜日の学力向上の時間のあり方や過去問を完全理解するまで繰り返し実施することや個々の児童の結果の見届け等、校長先生のリーダーシップの下、全校体制で改善されていくのかなと明るい希望をもったところでした。</p> <p>6月7日は、垂水中央中学校を訪問しました。梅雨晴れの爽やかな天気の中で先生の発問や指示に即応し、学級全員が学習に集中して取り組んでいく姿はとても爽やかで、素直ないい生徒たちだなと思いました。校長先生の生徒に居心地のいい学校づくり、生徒のための学校は基本でありながら、改めて、思い知らされる新鮮な感動を覚えました。それが生徒会に伝わり、生徒会が学校を変えていく原動力となっており、もちろん先生のアドバイスを受けながら生徒は取り組んでいくのでしょけれども、信頼し</p>

任されたことは、最大の努力をしてやりきろうと、そういう気持ちが強く、信頼に込めているのだと思いました。こんな体験こそが将来に生きて働く力となるであろうと思うことでした。素晴らしい学校づくりが日常的に行われているということで、学力はもちろん、あらゆる面で伸びていく学校になると強く思ったところでした。感動の1日でした。

葛迫委員

同じく学校訪問をお話しますが、コロナも5類になって、去年と違ってきたと感じました。

柘原小ですが、廊下が綺麗であったり、掃除が行き届いていたり、また、壁には展示物が整理整頓されていました。そういう中で、子供たちは授業を受けたり、勉強したり、学業に励んでいます、やはりその空間が大事だと感じました。授業に関しては、先生をはじめ、電子黒板やタブレットを駆使しながら、すべてが関わり合いながら学習に取り組む様子が見えました。

水之上小ですが、タブレット端末を使って授業をしています、学校の教育が随分変わり、昔と違って紙媒体ではなくて、このタブレットを上手に使いこなさないとこれから大変だと思いました。給食後の授業であっても午前中の授業のようにはつらつとした学習が目につき、教科書を見るよりタブレットを見ての授業に子供たちの集中力を感じました。

垂水中央中ですが、さすが中学生。ICT活用での教育を目のあたりにしました。生徒のやる気や深い学びにICTはすごく効果的だと感じたところです。これからの教育はどんどん変化していくと思いますが、今までの教育、新しい教育指導法を共有することでこれからの中央中の学びの場を創生してほしいと感じたところです。

今回の学校訪問で感じたことは、ICT活用、特にタブレット端末を使っての授業に子供たちは興味津々で、ちょっと遊びという範疇に入るのか分かりませんが、タブレットによく食いついており、新しいことに早く慣れたいと思う気持ちがそうするのか、子供たちの気持ちに寄り添った学校教育、これからの子供たちを創生する学校教育をどんどん推し進めていく垂水市の教育委員会を頼もしく感じました。

田之上委員

私も学校訪問の感想になります。

柘原小学校は、今年度最初の訪問校でした。校長や教頭を中心に学校がしっかりと動いているように感じました。子供たちの状況を全職員が把握して対応されており、小規模校の利点をしっかり活用されていると思いました。また、PTAや地域の協力のもとに特色ある伝統行事が引き継がれていることも素晴らしく、今後も続いて行ってくれるといいなと思ったところでした。

水之上小学校は、校内の樹木がすっきりとなっていてとても気持ちがよかったです。子供たちは整った環境の中で落ち着いているように感じました。水之上小もやはりPTAや地域との協力がもらえるところで、多くの特色ある行事がある地域ですが、コロナ禍で中止していたもの多かったと聞いています。今年度以降は徐々に元に戻っていくと思われそうですが、子供たちには多くの豊かな体験をして、ふるさとで育った自分のふるさとを感じてほしいと思っています。

垂水中央中学校は、いつ行ってもきちんと整理されていて、落ち着いて学校生活を送っているように感じました。授業改善がさらに進み、一昨年より去年、去年より今年とICT機器を上手く活用されているなど感じました。また、活発なやりとりなどもあり、先生の板書も文字が大きくて見やすく、生徒たちも集中を切らすことなく授業に臨んでいると思いました。今後さらに生徒同士の学び合いも進んでいくと思いました。

最後に県の市町村教育委員会連絡協議会定期総会に出席しましたが、桃木野聡弁護士による「学校におけるトラブル対応について」の講演は内容がたくさんですごく深いものでした。本当に今、近隣住民とのトラブル、SNSをめぐるトラブル、子供同士、保護者と色々なトラブルがあるということでその事例を交えながら話を伺いました。非常に勉強になったと思うことでした。

福里委員

柘原小学校、水之上小学校、中央中学校の学校訪問に行きましたが、それぞれの学校で子供たちのために頑張ってください先生方の姿や色々な面で頑張る子供たちの姿を見ることができてとても勉強になりました。

5月20日に娘がおもてなし隊の結団式に参加しました。おもてなし隊に参加したいと思ったきっかけは担任の先生の勧めでした。行ってみないと先生に言われて、自分だけだと思い理由を聞くと「しっかりしてそうだから」と言われたと喜んで話をしてくれました。娘は人見知りでそういう場に行くのが苦手ですが、先生の一言で、前日まで見向きもしなかったのに気持ちが変わり参加したいという姿を見て子供たちへの言葉かけ、声かけの大切さを感じました。

中学校の授業参観ですが、先生と子供たちとの信頼関係が出来ていると教育長先生の話がありましたが、まさにそれは先生方の言葉かけのおかげだと思いました。よく息子から校長先生が声をかけてくれた、担任の先生がアドバイスしてくれたなど家で話をしてくれますが、何気ない話やほめてもらえることがとても嬉しいようです。身近な先生だけでなく2年部の先生方がよく声かけなどしてくれるそうです。そんな先生方や友達のおかげで毎日学校に行けていることが親としてはとてもありがたいと感じています。あと家庭学習が120分とありますが、担任の先生に必ず1時間はしなさと言われて1時間がんばっていますが、1時間はやはり足りないと思っています。でもタブレットを使って勉強することが多くなって、宿題もタブレットで出されているようで先生たちがそちらに導いてくれていると思っています。

それから5月のはじめに日曜参観があり、校長先生が「垂水小学校の教育について」という話がありました。すごくいい資料もあり、一生懸命さは伝わりましたが、もう少し1年生はこんな感じで頑張っていますとか、こんなところが足りないとか、身近な話であつたらと感じました。

教育長

私も同様ですが、久しぶりの学校訪問、行ってよかったなという感動の気持ちで学校を後にしました。それはなぜかと思ったら、考えてみればコロナのせいで3年間、廊下から授業を見ていましたが、やはりそこに距離感があったような気がしました。教室の中に入り子供の近くで学びを見られたというのは大事なことだと思いました。このことは子供たちの学びの

様子が見えてきたり、教師の関わり方が見えてきたりということです。その間、中央中の先生方がかなりスキルアップをされたということもまた見て取れました。それから、私は冒頭の校長の40分の学校経営説明の熱量に驚きましたが、一方で明確にビジョンを話される姿に感動したところでした。校長の話は簡単に言うと、生徒を真ん中に置いた学校経営です。この子を何とかしたい、子供たちをとにかく成長させたいという熱い思いをすごく感じました。そうすると生徒は動き、その結果、生徒はよき学校づくりに参画する。そういうことをうまく仕掛けています。その背景には生徒のよさとか発想、そういうところを引き出す学校経営があるのかなと思いました。また、先生方と子供たちの関係性もいいと思いました。授業については、私はやはり学び方を学ばせるということが大事だと思いました。タブレット、あるいはワークシートを使って。そうすると、そこにスピード感だとか、リズムとかテンポが出てきます。それぞれ、学びには子供たちのペースがあります。それは何をもちかという子供なりの集中力です。そうすると当然のことながら、理解したことを外へ表現したくなります。つまりこれが発信です。一方通行だったものが双方向になっていく。これは交流です。今年度のGIGAスクールは発信と交流。これをキーワードにさらにアクセルを踏んでいきたいと中央中の学校訪問で感じたところです。

今、議会中で先日一般質問が終わりました。中身を見るとGIGAスクール関係が出ました。先ほどあった給食の無償化、燃える感動鹿児島国体ももちろんありました。特に保護者の立場に関心があると思いますが、かばんの重さもありました。それから垂水の子供たちの学力は一体全体どうなのかといった質問もありました。それから、文化会館の自主文化事業について、今年は30周年記念ということで落語のほか、あと一つ何か市民の方々が喜ばれるような、あるいは親子で楽しめるようなものを計画していきたいと思っております。それから、地下壕の調査や部活動の地域移行についての質問がありました。すべての質問に私や課長さん方で丁寧に対応しました。

最後に全国都市協議会について少しお話をします。今どんなことが国や県、市町村の教育行政で話題になっているかという学校の適正規模と再編です。これは我々も考えていかなければいけないことでもあります。学校の適正規模と再編は、やはりどこの自治体も考えているようです。それと安心安全な教育環境の整備ですが、主に学校施設の老朽化に伴い、色々と工夫されているようです。複合型といって、いろんな施設を一緒にする、例えば福祉施設だったり、保健施設だったり、地区公民館だったり、その中に学校という場をつくるという感じです。そういうコンパクトな考え方がかなり全国で出てきています。それから、GIGA、そして、教員の働き方改革です。教員のなり手がいない状況で、その背景にはやはりブラックと言われる教員の過重労働環境問題があり、どうすれば良い教員を確保できるのかといったような取り組みの紹介もありました。それからコミュニケーション力の育成も話題になり、色々なコミュニケーション力、日本語によるコミュニケーション力、英語も含むコミュニケーション力、こういうものはこれから大きく問われる時代になっていくだろうということでした。本市も英語力の向上に取り組んでいますが、もっとコミュニケーショ

ンに視点を置いてやらなければいけないと思うことでした。生涯学習の分野では歴史的財産と文化財の保護や活用について、利活用を図っているところの紹介がありました。あとは生涯学習のあり方ですが、地域が学校と連携協働した活動の推進、学校応援団などの活動ですが非常にクローズアップされています。今後、このように全国で学んだことも活かしていきたいと思ったところでした。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長
国体推進課長

5月12日から6月9日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、6月10日から7月6日までの行事予定についてお知らせした。

6 閉 会